

**令和 6 年度 第 2 回八王子市多文化共生推進評議会
議事要点録**

開催場所	生涯学習センター（クリエイトホール）11 階 第 7 学習室
開催日時	令和 7 年（2025 年）1 月 31 日（金） 午後 6 時 30 分～8 時 00 分
出席者	木村座長、奥野評議員、柴山評議員、ドミー評議員、花輪評議員、松本評議員
欠席者	荒木評議員、遠藤評議員、大塚評議員、小峰評議員
配布資料	評議会次第 【資料 1】令和 7 年度（2025 年度）多文化共生推進事業に関する予算案について 【資料 2】多文化キッズサロン事業について 【資料 3】地域日本語教育推進事業について 【資料 4】令和 6 年度（2024 年度）外国人留学生支援事業実施状況について 【資料 5】令和 7 年度（2025 年度）外国人留学生支援事業改正について
公開区分	公開
傍聴者数	1 名

1.令和 7 年度（2025 年度）多文化共生推進事業に関する予算案について

資料 1 について事務局より説明

後の議題でも詳細を説明することもあり、質問なし。

2. 多文化キッズサロン事業について

3. 地域日本語教育推進事業について

資料 2 について事務局より説明。その後、関連があることから、続けて資料 3 について事務局より説明。

【評議員の発言】

- ・ キッズサロンについて、一番の目的である居場所づくりはできているのではないか。子どもたちは来ることを楽しいと感じているし、支援者はとても親身になって学習者の進学のことを考えてくれている。
- ・ 日本語学校にも、子どもに日本語を習わせたいという要望が増えているが、日本語学校としては対応が難しく、お断りしている状況。
- ・ 知り合いのベトナム人は、小さい子供を連れて来ない。まず単身で日本に来て、慣れてから家族を呼び寄せる形が多い。
- ・ これからベトナムの方々は増えていく傾向かと。
- ・ ある日本語学校でも、4 割をベトナム人が占めている状況。

【事務局】

- ・ 八王子市の在住外国人について、ベトナム国籍の方は、中国に次いで2番目に多い。

【評議員の発言】

- ・ 地域日本語教育について、日本語学級には居住地の学校区に関係なく通えるということか。また、2年間の通級後は在籍校に戻る形なのか。
- ・ 居住地の学校に在籍しながら、週2時間特定の学校に通う形。
- ・ 在籍校の行事には一通り参加しながら、日本語の勉強をするために通う形か。
- ・ その通り。先日、日本語学級の学習発表会があり、様子を見せていただいた。保護者と一体となった良い雰囲気の中、子ども達は立派に発表していた。
- ・ 在籍校でのフォローはしっかりされているのか心配である。人数はそれほど多くないのだろうが。
- ・ そのあたりは学校の状況次第かと思う。
- ・ 学校にボランティアを派遣する制度があると思う。
- ・ スクールコーディネーターとして、学生等のボランティア派遣をされている場合もある。

【評議員の発言】

- ・ 教育現場との連携が必要ではないかと思う。外国にルーツを持つ子どもへの学習支援を行っているが、他の団体とも情報交換している中で、学校が終わった後にまた学習することはハードルが高い。放課後子ども教室の中で学習支援を実施している。
- ・ 最も子どもの状況を分かっているのは担任の先生なので、こういった支援が望ましいのか聞き取り、支援をしている。教育現場や担任の先生との連携が鍵になると思う。
- ・ 例えば、来日した子どもに、オンラインで母国の人から母国語で勉強を教えてもらうという取り組みなどもあり、そういった支援が孤独を和らげる良い手段だと思う。

4. 留学生支援事業について

資料4及び資料5について事務局より説明

【評議員の発言】

- ・ そもそも、留学生は全体で増加傾向なのか。

【事務局】

- ・ 増加傾向であり、在住外国人約16,000人のうち、4,000人程を占めている。
- ・ 大学に留学する留学生が多かったが、日本語学校や専門学校に通う留学生も増えている。

【評議員の発言】

- ・ 助っ人留学生の登録者数には、大学以外（日本語学校や専門学校など）に在籍する方も含まれているのか。

【事務局】

- ・ 含まれているが、数は少ない。もう少し積極的な周知が必要と考えている。日本工学院八王子専門学校と

のつながりも今後は活用していきたい。

【評議員の発言】

- ・ 地域とのつながりづくりや地域の活性化を考えたときに、留学生に対して地域の事業所が継続的かつ簡単な仕事を提供することはできないか。留学生がお金に困っているという相談が多くある。
- ・ 一方で異なる留学生像もあると思う。最近見る留学生の多くは十分なお金を有しており、お金よりも日本のことを知る機会に価値を感じる。例えば八王子市の地域活動に参加して貢献したという証明書を貰えると喜ぶのではないか。
- ・ 1回だけではなく、ある程度継続した参加をされた方に交付する形が良いのでは。

【事務局】

- ・ 素晴らしいご提案をいただいたので、実現する方向で検討したい。

【評議員の発言】

- ・ ハンドブックの電子版は市の HP からダウンロードできる形になるか。あと、日本語能力試験受験料補助金は生徒が勉強するモチベーションアップに繋がっていたと考える。

【事務局】

- ・ ハンドブックについてはおっしゃる通り。日本語能力試験受験料補助金については、地域での助っ人活動に繋げようと制度を改正したが、思うような成果が出なかった。

【評議員の発言】

- ・ 助っ人留学生の活動について、神輿担ぎのようにお金が出なくても良いから経験したいという学生もいる。
- ・ 地域との密着や地域への貢献交流、文化の体験という付加価値があればもっと参加者が増えるのでは。あと、活動が大学の単位取得につながるシステムがあれば。

【事務局】

- ・ 限られた予算の中、お金だけで得られないような価値を留学生の方々が感じてもらえるよう、メニューの充実に努めていきたい。

【評議員の発言】

- ・ 情報発信とネットワーク構築が重要と思う。学校と地域が繋がっていないので、そこが繋がれば変わってくる。放課後子ども教室は謝金が出るし、言葉がそこまで流暢でなくてもできるので、留学生の受け皿になり得るか。